

令和7年度 自己評価表（職員による自己評価）

やしのき保育園

3段階評価

- A：十分にできている（意識して行動できている）
B：だいたいできている（時々見直しが必要）
C：あまりできていない（今後の課題・改善が必要）

自己評価集計

1. 子どもへの関わり・保育の実践	A	B	C
子ども一人ひとりの心情や発達段階を理解し、受容的な態度で接しているか。	38%	63%	0%
子どもの安全・健康に配慮し、危険予測や環境構成を適切に行っているか。	38%	50%	13%
子どもの主体的な活動（遊び）を尊重し、適切な援助や見守りができているか。	13%	63%	13%
児童虐待防止や人権配慮の視点を持ち、言葉遣いや態度に気をつけているか。	33%	56%	0%
2. 保育計画の立案と振り返り			
指導計画（月案・週案など）を明確な意図を持って作成できているか	50%	50%	0%
日誌や保育記録を正確かつ具体的に記入し、次の保育に活かしているか	40%	40%	20%
行事の計画や準備を円滑に進め、子どもが主体的に楽しめる工夫をしたか	40%	0%	40%
3. 保護者支援・地域連携			
送迎時などに保護者と丁寧なコミュニケーションをとり、信頼関係を築けているか	33%	67%	0%
保護者の意向や家庭環境に配慮し、適切なアドバイスや支援を行っているか	14%	57%	14%
連絡帳の記述は適切で、子どもの園での様子が分かりやすく伝わっているか	0%	83%	0%
4. チームワーク・職員間の連携			
園の方針を理解し、他の職員と情報共有や報告・連絡・相談を徹底しているか。	33%	67%	0%
同僚や後輩、あるいは先輩と互いに尊重し合い、協力して保育にあたっているか。	22%	67%	0%
5. 専門性の向上・社会人としてのマナー			
自らの課題を認識し、研修への参加や自己研鑽に励んでいるか。	13%	75%	0%
勤務時間を守り、体調管理や身だしなみ、挨拶などのマナーを意識しているか。	89%	11%	0%
個人情報の管理や守秘義務を徹底しているか。	78%	22%	0%
反省・改善点 小規模保育ならではの「家庭的で丁寧な保育」という強みを活かしつつ、より安心・安全で質の高い保育を提供するため、以下の3つの柱を中心に園全体で一丸となって取り組んでまいります。 1. 家庭に寄り添う丁寧な対話とサポート 伝え方のスキルアップ： コドモン（連絡帳・ドキュメンテーション）を通じ、園での生き生きとした様子がより鮮明に伝わるよう、表現の工夫や研修を行います。 園全体での相談サポート： ご家庭からのご相談や思いに対し、職員間でしっかり共有し、チームとして一貫性のある丁寧な対応を徹底します。 2. チーム全体で未然に防ぐ「安全対策の徹底」 保育士配置の最適化： 登降園時や早朝・夕方など、体制が変わる時間帯の配置ルールを再評価し、隙のない見守り体制を確立します。 危険の即時共有の習慣化： 日々の些細な「ヒヤリとした事例」をその場で周囲に声に出して伝え合い、全員で連動してフォローします。 3. 主体性と知恵を動かす「保育の質の向上」 お子様の「小さな変化や成長」の共有： 毎日のミーティングで一人ひとりの様子や興味を細かく共有し、園全体でお子様の気持ちに寄り添います。 「今、必要な関わり」を自ら考える力の育成： マニュアルだけに頼らず、目の前のお子様にとってベストな環境や声かけを職員一人ひとりが主体的に考えて実践します。 「遊びやアプローチ」のバリエーション強化： 職員間でアイデアを出し合うミニワークを定例化し、それぞれの経験や視点を掛け合わせることで、遊びや言葉かけの引き出しを増やします。 「WARAリズムの導入」 新たにお子様の体幹を鍛える0歳児からの運動プログラムの指導研修を行い、職員全員がお子様と取り組める環境を作る。毎日取り組むことでやりたいことができる体づくりをしていきます。 保護者の皆様が毎日安心してお子様を預けられる園であるよう、職員一同、これまで以上に高い意識を持って日々の保育に努めてまいります。			